



2022年度実施プロジェクト

【① みんなで作るオーガニック田んぼプロジェクト】



ネオニコフリー（農薬や化学肥料を一切使わない）お米づくりの実践にチャレンジ。田植えや稲刈りイベント、毎週土曜日の草取りなど、地域のみんなも巻き込んで、一緒に活動をしています。

2年目となる昨年度は、周囲の農家さんも驚くほどの大豊作で、収穫祭を含めて大成功に終わることができました。

2023年度からは、「コウノトリ育むお米」を先導された西村いつき先生に学ぶ有機稲作方法を実践し、自らが成功モデルとなることで、周囲の農家への有機稲作技術の普及・啓発を目指します。

**空と大地と仲間たち
みんなで作った米は旨い**
お米づくり体験&収穫祭×メンバー大募集

年間予定 ●概要
3月 耕運・緑肥播種
4月 ぼかし堆肥づくり
5月 代掻き・あぜ盛り
6月 田植え・水管理
7月 草取り・草刈り
8月 中干し・草刈り
9月 稲水準備・草刈り
10月 稲刈りハゼ掛け脱穀
11月 おかず持寄り収穫祭

参加費：1組3000円（連年）
場所：兵庫県三田市青志

天候や状況に応じて日程を調整
一部の参加でも大丈夫です
収穫と隣りでお米を分配します
以下フォームよりお申込下さい

〇歳から参加可能
見守りベビーカー
での参加もOK！機動性
が低くても大丈夫

公式LINE 申込フォーム
さんだオーガニックアクション
<https://organicaction.tiemand.jp/>
sanda.organicaction@gmail.com



【② ネオニコフリーな社会・農業の普及啓発を目的とした講演会・映画上映会の開催 (全5回)】

持続可能な農業・生物多様性や、環境の保全を目的とした普及啓発活動として、各分野の専門家（ネオニコチノイド系農薬や食の安全、生物多様性や有機稲作技術等）による講演会・映画上映会を開催しました。

毎回、各会派より10名前後の市・県・国会議員等にもご参加をいただき、三田市議会の一般質問等でも、持続可能な環境や農業の保全について取り上げていただきました。また、市議会7会派中5会派の令和5年度予算要望で、安心安全な給食を求める声を届けていただき、うち3つの予算要望では「オーガニック」と言及いただくなど、市政を巻き込む取り組みに繋がっています。

第1回：5月9日 星信彦氏

『元気な心と体のために知っておきたい「食」の真実 *ネオニコ研究最前線@三田&オンライン』

第2回：7月29日 西村いつき氏

『地域の"農"とこどものために三田だからできること *コウノトリがつなぐ未来 * @三田&オンライン』

第3回：10月8日 山田正彦氏講演・映画「食の安全を守る人々」上映会

『さんだオーガニックフォーラム』

第4・5回：11月21日・3月7日 西村いつき氏

『三田地域に適した有機米栽培を学ぶ①②』

食の未来を照らしたい **さんだ未来の食トーク①** **一生モノの知識が満載!**

元気な心と体のために知っておきたい「食」の真実
ネオニコ研究最前線

お話しします! **講師：星信彦先生** (神戸大学農学研究所教授)

未来の子どもたちに、この先もずっと豊かでおいしい「食」をつなぐため、「さんだ未来の食トーク」6回連続講座を開催します。第1回はネオニコチノイド系農薬研究の第一人者であり、難しいこともやさしく明るく教えてくださる神戸大学の星先生のお話です。

- 日時：2022年5月9日(月) 13:10~ 受付 13:30~15:30 講演会
- 会場：まちづくり協働センター 多目的ホール (キッピーモール6階)
- 定員：60名
- 参加費：500円
- *オンライン同時配信あり (フォームよりお申込みください)

左のQRコードまたは下記の連絡先より、お名前・ご連絡先をお伝えのうえお申し込みください。
sanda.organicaction@gmail.com
079-565-7314 (受付時間)

食の未来を照らしたい **さんだ未来の食トーク②** **地域まるごとブランド化!**

地域の"農"とこどものために三田だからできること
コウノトリがつなぐ未来

但馬の事例をご紹介します! **講師：西村いつき先生** (Nishimura Itsuki)

兵庫県農林水産技術総合センター次長 兵庫県立大学大学院地域創生マネジメント研究科准教授

未来の子どもたちに、豊かでおいしい食をつなぐため、「さんだ未来の食トーク」6回連続講座を開催します。第2回は、但馬地域の農家さんと共に「コウノトリ」をキーワードに先導された高村いつき先生のお話です。

- 日時：2022年7月29日(金) 18:10~ 受付 18:30~20:00 講演会
- 会場：まちづくり協働センター 多目的ホール (キッピーモール6階)
- 参加費：500円
- 定員：120名
- *オンライン同時配信あり (ご観覧の方はフォームからお申込みください)

左のQRコードまたは下記のE-mailアドレスより、お名前・ご連絡先をお伝えのうえお申し込みください。
sanda.organicaction@gmail.com
090-5967-5974 (当日の緊急連絡先)

豊かな食をつなぐため、私たちにできること。

さんだオーガニックフォーラム
SANDA ORGANIC FORUM

開催日：2022年10月8日(土) 入場料：1,200円 定員：200名
会場：三田市総合福祉センター多目的ホール(兵庫県三田市川原675)

9:30-開場・受付開始
9:30-10:15 開会式(中学生の歓迎)
10:00-12:45 パネルディスカッション
13:00-14:30 山田正彦先生講演
16:45-18:00 映画上映会(予約必須)

食の安全を守る人々

お申し込みは、右下のQRコードまたは下記E-mailアドレスよりお名前ご連絡先をお伝えください。
sanda.organicaction@gmail.com
当日連絡先:090-5967-5974

産 消 田んぼの生き物
三方良しのブランド米

三田地域に適した有機米栽培を学ぶ

第1回 11/21(月) 但馬地域で「コウノトリ育む農法」を先導された西村いつき先生から有機米栽培を学ぶ2回の講座です。
第2回 3/7(火)

西村先生と一緒に、阪神地区に取り入れやすく、環境の創造につながるお米作りに取り組んでみませんか?

私たちさんだオーガニックアクションと一緒に、お米作りを通して、次世代へ継いでいける環境、社会作りへの一歩を共に踏み出しましょう。

講師：西村いつき先生
兵庫県農林水産技術総合センター次長 兵庫県立大学大学院地域創生マネジメント研究科准教授

日時：第1回 11月21日(月) 13:30-16:30 開演15:10
第2回 3月7日(火)を予定 (要予約/同時配信あり)

定員 20名
費用 4000円(2回同時配信あり)
同時配信あり。同時配信もご観覧下さい。申込後欠席の場合は2000円引き戻しします。

お申し込み先：お申込先 090-8933-5622 (要予約)

イベントへのスポット参加OK!
10月15日(土) 福引日
10月16日(日) 10月22日、23日
10月16日(日) サンマルシェ
11月13日(日) 収穫祭
その他 地域食堂 in いこいの家 (毎月最終日曜日)
みんなで畑活 in たね農園



【③ 畑で大豆から味噌づくりプロジェクト】

参加者6組で、畑で大豆を栽培するところから、味噌づくりまでを体験するプロジェクトを実施しました。今年参加者から自主的に声があがり、継続プロジェクトとなっております。



【④さんだ地域食堂の運営】

毎月最終日曜日に、「環境循環団体くさり」との協働運営にて、「さんだ地域食堂」を運営しています。地域のスーパー・直売所で廃棄されるフードロス食材を提供いただく他、さんだオーガニックアクションで育てた無農薬米や、三田の放置竹林の整備から産まれる竹炭パウダーを使用しています。

さらに、食育・環境教育を目的とした、こども向けの紙芝居も、毎月実施しています。調理中に出る生ゴミは、すべて土に還し、循環させています。

さんだ地域食堂
ちいさしき

...*...2022年7月31日(日)...*...

SunSun 定食

- ・みんなで育てた無農薬コシヒカリ
- ・野菜たっぷりお味噌汁
- ・きゅうりの鶏照り巻き
- ・ポーマンのまるごと蒸し
- ・ズッキーニの大葉ジエノバールゼ風
- ・蒸しナスとオクラのおひたし
- ・いなり餅・ポーマンと大豆の甘辛煮
- ・きゅうりのキムチおろし物
- ・ミューズリーヨーグルト
- ・マンゴーとくみの竹炭チーズケーキ
- ・オーガニックコーヒー

調理中に出る生ゴミ・野菜くずは、すべて土に埋めて堆肥化しています。土の栄養分として循環させ、また新しい野菜を育てるエネルギー源になっています。

ZERO WASTE



【⑤「オーガニック給食DAY」@私立保育園の開催】

私立こぼと保育園にてオーガニック食材と無添加調味料による給食を提供させていただきました。対象は保育園児（0～5歳児）約60名と職員約20名です。食材とレシピの提供に加え、オリジナル紙芝居「めぐる命の物語や、食育クイズなどの食育プログラムを実施しました。先生たちからも園児たちからも、次回開催を希望する声を多数いただいております。

2023.3.16

オーガニック給食DAY!

in こぼと保育園

子どもたちの健やかな成長のためにできること。そのひとつに安心安全な食材を使った「オーガニック給食」があります。土作りから料理まで、愛情がたっぷり詰まったおいしいご飯をいただきます☆

今回使用したオーガニックな食材の一部をご紹介します！

自分たちで無農薬のお米を作りました



さんだオーガニックアクション

えみ先生の無農薬畑で心を込めて作った大根



三田市みのりの里

豊かな土の味がする甘〜い春にんじん



丹波市キャロットガレージ

無添加こだわり素材の手づくり味噌



三田市早瀬野菜研究所

稲作体験から生まれた手作り米ぬかふりかけ



三田市tatoteto food

自然な顔で大切に育てたニワトリさんのたまご



丹波市カンナンファーム

土で育った深い甘み貴重な有機いちご



三田市arrows farming

にんじんクッキー & ごま米粉クッキー



三田市ビーガンカフェpono cafe

オーガニック給食でつなぐ 子どもと地域と地球の未来

オーガニックは、人と地球にやさしい農業。給食で子どもたちに食べてもらうことで、地域の農家さんを応援することにもつながります。子どもたちの健康、美しい里山、豊かな自然のち育むオーガニック給食をめしあがれ！

「オーガニック」って何だろう？

生命を育み循環している有機的なつながりを指す言葉。有機JAS認証など有名。農薬や化学肥料を使わず、土の中の小さな生き物たちと力を合わせて作る農業。

お米作り体験や上映会、勉強会などイベント開催を準備中！



LINE



Instagram



【⑥ その他ロビー活動】

三田市の農業基本計画の傍聴を複数のメンバーで継続し、給食審議会の傍聴やロビー活動を積極的に行い、学校給食の答申に有機食材の利用を検討するという言葉を盛り込んでいただきました。

また、兵庫県の斎藤知事が三田を訪問する「斎藤知事と語ろう会」に、自民党の議員さんの紹介で参加させていただき、オーガニックの普及を要望させていただきました。それがきっかけの1つとなり、今年度の兵庫県の予算に3億円を超える有機農業関連予算をつけていただくことができました。

I 新しい時代の力を育む

持続可能な農林水産業の実現

基幹産業として発展する農林水産業を振興

有機農業をはじめとする環境創造型農業の推進

【拡】■ 環境創造型農業・有機農業の新展開に向けた取組を推進 [7,400万円]

| | | |
|------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和5年度 有機農業をはじめとする環境創造型農業に関する有識者会議の設置 | 新たな担い手による 取組面積拡大 ○担い手の確保・育成 ・新たな実践者の育成 ・有機農業転換ETP経営体の育成 ○産地化の支援(オガコッレレジの創出等) | 流通・販売など 出口対策 ○取組や効果の「見える化」 ・普及指導員への有機JAS研修 ・有機JAS認証への個別指導 ○販路の確保等(商談会・学校給食等) ○県民理解の醸成(有機農業教室等) |
|------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

令和6年度以降
 新たな施策展開・環境創造型農業の次期計画に反映

【新】■ 耕畜連携に関する連携会議の設置とともに、農作物・飼料増産に必要な施設整備を支援 [1.5億円]
 (神戸市・堆肥ベレット化施設)

多様な担い手の確保・育成

【新】■ 将来の地域農業の担い手と農地利用の姿についての地域の話し合いを促進 [7,200万円]
【新】■ 農業に携わる多様な人材を確保する取組や地域と連携して農業に参入・参画する企業を支援 [820万円]
 (移住者へのマンツーマン指導、企業との協働による産地育成支援等)

県産農林水産物の輸出拡大

【新】■ 現地トップシェフ・メディア等に対するトッププロモーションを実施(フランス・マレーシア) [1,100万円]

豊かで美しい海づくり

【新】■ 漁業関係団体等とひょうご豊かな海づくり県民会議(仮称)を設立し、官民連携による県民運動を展開 [380万円]



兵庫県但馬地域において、「コウノトリ育む農法」を先導された西村いつき氏を講師に招き、農家・稲作実践者向けの栽培実践講座を開催しています。

兵庫県但馬地域では、西村いつき氏を筆頭に、「JAたじま」・地元の農家や住民も巻き込みながら、地域ぐるみで「コウノトリ育む農法」の普及に取り組まれてきました。

ネオニコチノイド系農薬や化学肥料を使わない、生き物いっぱいの田んぼが、少しずつ地域に増えることで、コウノトリが当たり前に見られる但馬地域として、地域ブランドとして確立されています。

「コウノトリ育む農法」で作られたお米は、JAたじまによって通常米よりも高価に買い取られるため、若手農家を中心に、同農法に取り組む農家が年々増えています。

その結果、豊岡市は、2025年度より学校給食のお米を